

寿楽苑だより

126号



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高村 敏明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664

TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941

e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp

http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和 5年11月20日

小ホールで運動会

9月27日、小ホールで運動会を行いました。

紅白2組に分かれた入居者様は、職員が指導するソーラン節の音楽に合わせた準備体操で体をほぐしてから、競技がスタート。

最初の競技は、紐に通した筒を隣の人へ手渡しで送り、どのチームが先に到着するかを競う、ロープウェイゲーム。

「早く、早く。向こうに、負けられんよ」

応援する声にも、熱が入ります。

次の、車イスに座ったまま行う玉入れは、大きなカゴを持った職員が、入居者様の前を通っていきます。



そのカゴの中へ、持った玉を投げ入れるのですが。

「こい近いがに、なんで入らんが」

「よし。2つ、いっぺんに入ったぞ」

続いては、パン食い競争。紐の先にぶらさがっているのは、パンとお菓子の袋。

そのどちらを取るかは、入居者様次第ですが、なかにはパンを3個とった猛者もいらしたようです。

最後のゲームは、職員対抗水分補給合戦。コップの炭酸ジュースを、早く飲み干したチームの勝ち。途中、おせる職員もいて、周りで見っていた入居者様から、「頑張れ頑張れ」と大声援が沸き起こっていました。

デイサービス通路にサツマイモ展示

今、デイサービス通路に、手作りのサツマイモが展示してあります。

作ったのはデイサービス職員で、取りかかってから完成するまで、45日ほどかかった本格的なもの。

形や色などは、まるで本物そっくり。

前を通りかかった利用者様が思わず手を伸ばし、本物かどうかを確認するほどの出来栄です。

「このサツマイモ、いい色しとるわ」

「焼いた方がいいかね。それとも蒸した方がいいかね」

「そりゃ、焼いたがにちや、かなわんまい」

通路では、そんな笑顔のサツマイモ談義が。





米寿と百歳のお祝い会

9月22日、ユニット広場で、米寿と百歳のお祝い会を行いました。

米寿を迎えられたのは、山本まり子様。そして、百歳を迎えられたのは、小森カオル様です。

式典前、お二人がお祝い会用の服に着替えると、まるで見違えてしまう雰囲気になります。

お祝い会は、米寿のお祝い会からスタート。

山本様は終始笑顔で、挨拶やお祝い品を受け取るとき、その都度「ありがとう」とお礼の言葉を。



続いて、百歳のお祝い会では、小森様がお家族の顔を見るなり、穏やかに素敵な笑顔に。

式典で、ご家族様から謝辞が述べられたのですが、とても心温まる内容。それを聞いた職員、これからも入居者様が安全安心に生活をしていただけるよう、より一層努めていかねばと心に刻みました。

式典に参加した入居者様、「なんて、めでたいがけ」「私らも、長生きせんとね」などと、楽しそうなおしゃべりが続いていました。



デイサービス



ハロウィンイベント

10月16日から21日にかけての5日間、デイサービス広場でハロウィンイベントを開催しました。

利用者様は、カボチャや白いお化けなどの面を頭につけて、すっかりハロウィン気分です。

職員の仮装姿を見て「見られ。おもっしょい恰好しとるぜ」と、隣の利用者様に小声で耳打ちを。

ハロウィンがキリスト教に関係する行事だと知った利用者様、頷きながら「やから、カボチャの面つけるがや」と感心したように。



ハロウィンイベントの中心は、ゲームです

ハロウィン釣りゲームは、コウモリなどの絵に点数が書かれており、それを釣り上げて競うもの。

また、目ん玉落としゲームは、目の絵がついた赤い玉を、紙コップに落として競うもの。

どのゲームも、勝ち負けがかかっており、利用者様は真剣な表情で取り組んでいました。

おやつは、ハロウィンにちなんだカボチャプリン。「カボチャのプリンって初めてやけど、おいしいね」。



喜 楽 苑



二宮金次郎の像

10月2日、入居者様「外、気持ちよさそうやね」の一声で、「でしたら、施設の外へ出かけましょうか」と急遽散歩へ行くことに決定。

「あれっ。こんな所に二宮金次郎があるよ」
 「見っしょい。薪背負って、本広げとるわ」
 言いながら、像に手を合わせる入居者様。
 「以前、ここに舟見小学校があったんですよ」
 「ふーん。それで、金次郎の像があるがや」
 「あの金次郎、どんだけの子供たち見て来たがかね」



テラスで女子会



10月17日の午後、とても良い天気です。入居者様に「今日は、いい天気ですね。テラスで、お茶でも飲みませんか」と声をかけると、即答で「はい」。

5人の入居者様が、早速テラスへと向かいます。顔ぶれが女性ばかりなので、職員が「女子会ですね」と声をかけると、「女子会ちゃ、何け」との質問が。
 「昔で言うたら、井戸端会議やちゃ」
 「場所変わったら気分変わるし、こいがも楽しいね」
 「また、ここに集まって、話しせんまいけ」

行 事 等



避難訓練

10月3日、舟見寿楽苑の厨房で職員が休憩中、ガスコンロから火災が発生したとの想定で、避難訓練を行いました。

新川地域消防職員が立ち会い、全体の流れや個々の動きなどを細かくチェックです。

この日は、職員が消火栓からホースを取り出し、駐車場で放水する本格的な消火活動訓練も。

また、喜楽苑での消防職員立ち合い避難訓練は、11月14日に実施しました。



秋祭り



10月8日、舟見寿楽苑の正面玄関で、舟見藤保内神社の秋祭りが執り行われました。

入居者様・利用者様は、窓から顔を覗かせて、祭り見物です。

「見っしょい。子供たち、一生懸命に踊っとるよ」
 「うん。夜さる集まって練習したもんやぜ」
 「こりゃあ、見とるだけで値あるわ」

踊りの後、藤保内神社高邑宮司により、関係者の無病息災を祈願する祝詞奏上が行われました。

まごころ善意

令和 5年 9月18日～令和 5年11月16日
(順不同・敬称略)

寄付金

・匿名



・宮下 京子 ・遠藤 絹代 ・徳光 昇

寄付物品

・入江 由紀美 ・沓掛 忠昭 ・奥迫 千恵美
・バーデン明日 ・匿名

ボランティア

・入善町婦人ボランティア連絡協議会



ご家族様・関係する皆様への お知らせ

12月1日以降入居者様との面会は、従来通りロビーとオンライン面会になります。ロビーでの面会は、電話等による事前予約。また、オンライン面会については、舟見寿楽苑のホームページ「オンライン面会について」で、手続き方法などを紹介してありますので、ご覧になり予約の手続きをお願い致します。

なお、施設でインフルエンザや新型コロナ等の感染が認められたときや、地域で感染が広がったなどの場合は、ロビーでの面会を中止させていただきますので、ご了承ください。

E式 研修会



10月17日から4回に分けて、職員等を対象にしたE式研修会を行いました。

(有)金沢サプライの林博之講師が、「改めて、組織活動の理解」と題し講義。

組織のなかで心得ておきたい大事なこと、職場のルールとマナー、組織の3要素などについて、参加者の発言を引き出すよう質疑を交えながら、講義が行われました。

第2回 温泉で学ぶ正しい介護方法研修会

11月9日、ふれあい温泉で、第2回温泉で学ぶ正しい介護方法研修会を開催しました。6月に引き続き、家庭で介護のお世話をしている方や、関心のある人などを対象に、施設職員が講師を務め、介護技術、介護保険等について講義。

参加した方々は、介護方法や介護サービス等について、真剣に耳を傾けていました。この研修会は、赤い羽根共同募金の助成で、開催したものです。



編集後記

散歩に出かけた時のこと。河川敷で工事が行われており、木や草に覆われ隠れていた小川が、その姿を連れが「なんてきれいな水。春暖かくなって、あこで石鹸使って洗濯したら、どんだけ気持ちいいやろ」。川が汚れるから、それは出来ない相談だけど、昔は洗濯板と木製の丸いタライで洗濯していたものだよなど。

連れから、「どうして、下を向いて歩くがけ。散歩の時くらい頭を真っすぐにして、景色を楽しみながら歩いたら」と厳しい言葉。スマホ見過ぎもあり背中が曲がり気味、痛い所をつかれたぞと、慌てて背筋をピン。

水がどんなに冷たくても、手での洗濯が当たり前だったのは、随分昔のこと。そのためか、いま手がひびやあかぎれで真っ赤、などという人は滅多に。苦勞知らずの、やわなこの手を眺めながら、くせがついて曲がり気味の我が根性はもう手遅れのような気がするけど、せめて姿勢だけでも意識して真っすぐに。